

高知県版基本チェックリストの作成

田中友樹 新井友理 大高望 公文恵美子
信貴政人 鄭裕午 安富義親 横山麻衣子

【目的】

わが国における高齢者の割合は年々高くなっており、この中でも我が高知県のような地方においては高齢者人口の増加とともに要介護高齢者の増加は深刻な状況となっている。医学的、医療経済的視点からも、この高齢者の心身の機能低下を未然に防ぐことが重要であり、そのために要支援・要介護状態になる恐れの高いもの(高齢者人口の概ね 5%)を特定高齢者とし、介護予防事業を実施することになっている。その特定高齢者を把握するために、現在ではまず 25 の質問項目からなる基本チェックリストを用いて特定高齢者候補(高齢者人口の約 25%)を選出しているが、実際には①質問が全国一律であり、地方の特性に合っていない ②25%の選出ができていない などの問題がある。そこで今回の演習ではより正確な生活機能評価が行える評価シートを作る。

【方法】

既存のチェックリストを参考に、①生活機能・活動度、②運動機能、③栄養、④口腔機能、⑤閉じこもり、⑥認知症、⑦うつ、⑧社会的背景について、論文を収集し、健常者と特定高齢者、そして要介護者の間に有意差が見られたものをもとにして新しい評価シートを作成した。

【結果】

①生活機能・活動度、3項目、②運動機能、4項目、③栄養、2項目、④口腔機能、1項目、⑤閉じこもり、3項目、⑥認知症、3項目、⑦うつ、4項目、⑧社会的背景生活機能・活動度、2項目の計22項目からなる高知県版基本チェックリストを作成した。

【まとめ】

実際に高知県各地でこのチェックシートを使用、検証し、高齢者人口の 25%を選出できる基準値を設定することが今後の課題である。